

西表島における世界自然遺産登録に関する住民アンケートの結果

平成 29 年 9 月～11 月にかけて、西表島に住んでいる人を対象に、世界自然遺産への登録に対する意識調査を実施しました。

西表島の全世帯（1,258 件）に質問票を配布し、252 件（回収率：約 20.0%）のご回答をいただきました。

アンケートにお答えいただいた方の年齢は、30 代～60 代の方が多く、職業は、観光ガイドの方が最も多く約 13.9%、宿泊業の方が約 11.9%の比率を占めました。（詳細は右表）

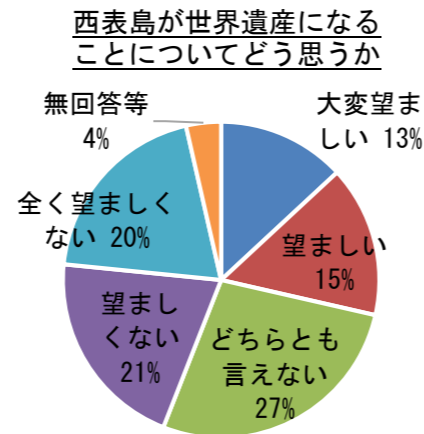
＜アンケートにお答えいただいた方の特徴（属性情報）＞

性別	回答数	比率(%)	職業	回答数	比率(%)
女性	120	47.6	観光ガイド	35	13.9
男性	114	45.2	宿泊業	30	11.9
無回答等	18	7.1	主婦	26	10.3
			無職	26	10.3
年齢	回答数	比率(%)	観光業 (ガイド以外)	21	8.3
10代	0	0.0	農業	18	7.1
20代	12	4.8	公務員	14	5.6
30代	55	21.8	飲食業	12	4.8
40代	55	21.8	教育機関	11	4.4
50代	44	17.5	交通・運輸	9	3.6
60代	57	22.6	小売業	6	2.4
70代以上	29	11.5	その他	30	11.9
無回答等	0	0.0	無回答等	14	5.6

世界自然遺産に関する認知度・意識

西表島の世界自然遺産への推薦については、既に多くの方がご存知でした。遺産登録については、好意的な意見が約 28%ある一方で、好意的でない意見も約 41%あり、現状では期待もある一方で不安も多いことがわかりました。

(認知事項)	知っていた	知らなかった	無回答等
西表島が世界自然遺産に推薦された	94.4%	4.4%	1.2%
奄美大島、徳之島、沖縄島北部と一緒に世界遺産に推薦された	85.3%	13.1%	1.6%
西表島の自然に世界的に貴重な価値がある	93.7%	5.2%	1.2%

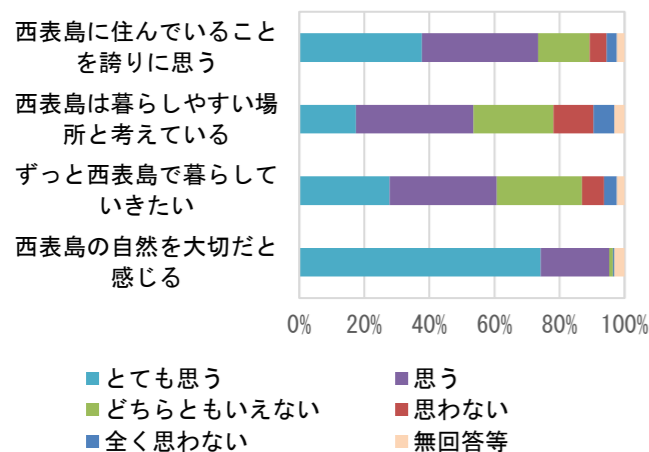


西表島における暮らしや自然についての意識、重要課題についての認識

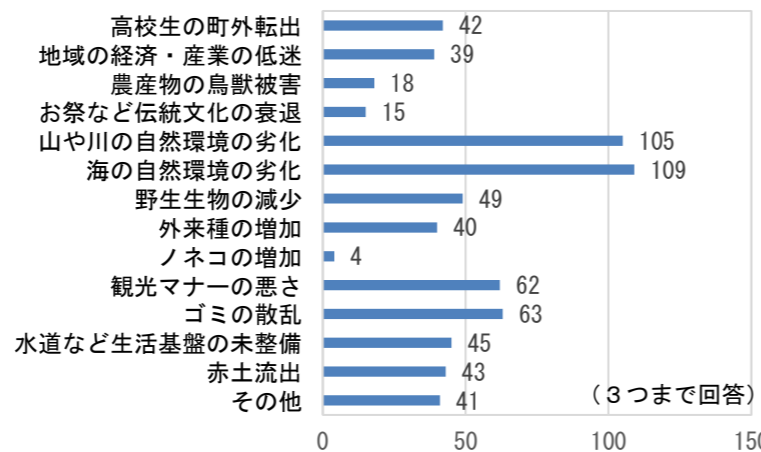
西表島での暮らしに関する意識では、70%以上の方が西表島に住んでいることを誇りに思っていることがわかりました。また、西表島の自然を大切であると、90%以上の方が感じていました。

西表島の抱える課題として、山や川、海の自然環境の劣化が特に重要な課題であるとする意見が最も多く、続いて、ゴミの散乱、観光マナーの悪さも比較的多く挙げられました。「その他」の回答には、観光客の増加による環境や生活への影響、医療問題といったことが挙げられていました。

西表島における暮らしや自然についての意識



西表島の抱える課題のうち、重要な課題は何か



地域活動や保全活動、講演会等への参加状況

この 1 年間での活動参加状況として、公民館活動や環境美化に関する活動に参加された方が多い傾向が見られました。世界遺産に関する講演会や会議等には約 38%の方が参加していました。観察会や保全活動に参加する方も、選択肢の中では少ないものの一定数みられました。

活動内容	回答数	比率※(%)
集落の美化活動や公民館活動	197	78.2
県道脇の草刈り	136	54.0
ビーチクリーン活動	113	44.8
世界遺産に関する講演会や西表島部会	96	38.1
自然や生きものの観察会	54	21.4
やまねこパトロールや交通安全運動	29	11.5
外来植物や外来カエル等の駆除	16	6.3

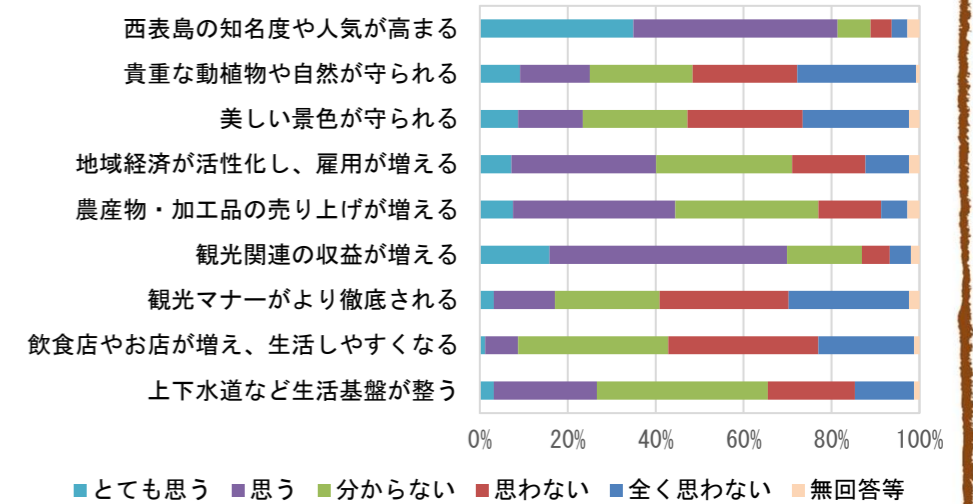
※比率は母数をアンケート回収数（252）として便宜的に算出したもの。この母数には無回答者が含まれるため、実際の比率はより高くなる。

西表島が世界自然遺産に登録された場合に期待できること

期待できることとして、80%以上の方が地域の知名度や人気が高まると考えていることがわかりました。観光関連の収益が増えること（70%程度）が次に多く、観光業を中心に地域経済が潤うことへの期待はある程度持たれていると考えられます。

一方で、貴重な自然や動植物が守られる、美しい景色が守られると回答した方は 30%に満たず、世界遺産登録が自然環境や景観の保全につながることは認識されていませんでした。

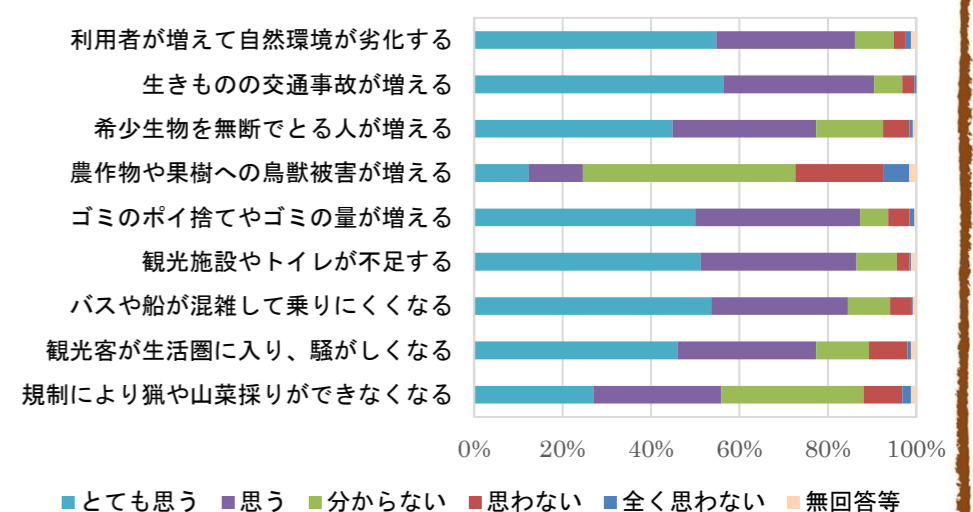
西表島が世界自然遺産へ登録された場合に期待できること



西表島が世界自然遺産に登録された場合に懸念または心配すること

懸念または心配することについては、ほとんどの項目でそう思う方の割合が軒並み高く（80%程度）、さらに、50%程度の方は「とても思う」と回答していました。利用客の増加と関連した生き物や自然環境への影響、インフラの不足、生活への影響など、幅広く大きな懸念が地域住民に持たれていることが伺えます。猟や山菜採りへの規制についての懸念・心配も 50%程度ありました。

西表島が世界自然遺産へ登録された場合に懸念または心配すること



まとめ：西表島の住民にとって島の自然はとても大切に思われており、陸域、海域を問わず自然環境の劣化が最も重要な課題として認識されていました。世界自然遺産への登録については、観光業を中心に地域経済が潤うことへの期待感はある程度持たれている一方で、登録が自然環境の保全につながることは認識されておらず、逆に観光利用の増加等に起因する自然の劣化、インフラの不足、生活への影響などの懸念・心配が多く、遺産登録を否定的に捉えている方の割合が高くなっています。世界自然遺産に向けた取組においては、西表島の自然環境の保全を確実に進め、地域住民の皆様の理解を得ていく必要があります。